

整理番号	11	作成日	平成 17 年 6 月 20 日
事業名	区施設における環境負荷の低減		
所属名	都市開発部 施設課 事業調整係・施設第一係・施設第二係・設備第一係・設備第二係	電話番号	(03) 5662-6573 (直通)

**事業の目的及び概要**  
 地球温暖化対策の推進に関する法律に基づき、区は温室効果ガスの排出を抑制するため、H17年度から第二次環境行動計画をスタートさせています。その目標を達成させるために、区施設の営繕工事にあわせて太陽光発電や屋上緑化などの省エネルギー、省資源の設備を効果的に導入しています。施設課では各部からの依頼により施設の建設、改修工事の設計、監理等を行っています。その際に主官部と協議しながら省エネ提案を実際の工事に取り入れています。

**事業の開始年度** 太陽光発電 (H13)、屋上緑化 (H12)、雨水利用 (S56)

**現在の課題**

- ① 初期設置コストが高い。太陽光発電や雨水利用設備等の導入には多額の費用がかかります。補助金も太陽光発電のみが対象で、光熱水費の削減分で初期投資費用を回収するのは厳しい状況です。
- ② 設備の維持管理が必要になる。雨水利用には塩素滅菌、屋上緑化には散水や草とり等、設置した設備の日常の維持管理が必要になり、そのための手間や経費がかかります。

**事業の対象と動向**  区民全体  対象年齢あり ( )

[対象事業(工事)の件数]  対象条件 (H13年度以降に実施した太陽光発電、屋上緑化、雨水利用 工事)

14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	対象の傾向
4件	5件	4件			→ 横ばい

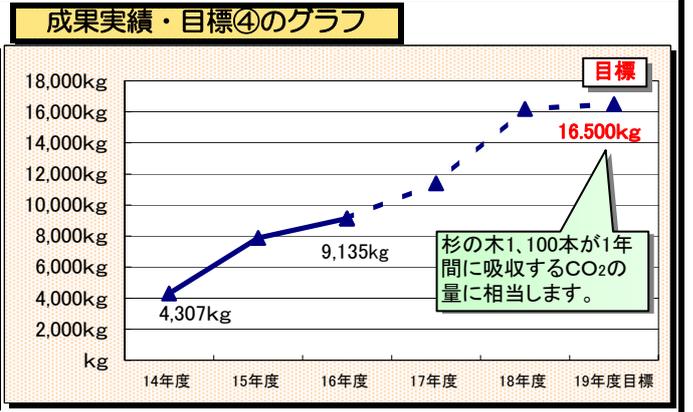
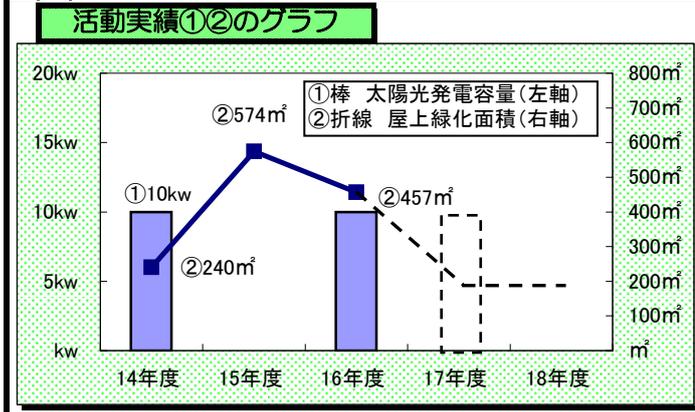
備考： 特定の人を対象とした事業ではないため、評価対象事業を明確にし、その年度ごとの件数を記載しました。

	活動指標名	活動指標の説明
①	太陽光発電容量	太陽光発電システムの発電能力 (kw)
②	屋上緑化面積	屋上緑化部分の面積 (㎡)
③	雨水貯留槽容量	地下ピットに溜められる雨水の容量 (㎡)

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	13~16年度累計	※ 太陽光発電量や雨水利用量等の集計はH13年度以降施工した施設について行っています。
①	10kw		10kw			30kw	
②	240㎡	574㎡	457㎡			1,512㎡	
③			120㎡			594㎡	

	成果・目標指標名	成果・目標指標の説明
④	CO <sub>2</sub> 削減量	太陽光発電、雨水使用により削減されたCO <sub>2</sub> 量と、屋上緑化での植物のCO <sub>2</sub> 吸収量の和 (換算値)

	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度目標	目標値設定の説明
④	4,307kg	7,873kg	9,135kg	kg	kg	16,500kg	今後の予定工事ごとに竣工後の成果を想定し、年度単位に集計。



# 事業名 区施設における環境負荷の低減

**実施の根拠となる法令等** 地球温暖化対策の推進に関する法律  
江戸川区第二次環境行動計画

## 民間委託やボランティアなどとの協働の状況

なし  あり

委託等の内容（新築施設の設計業務）

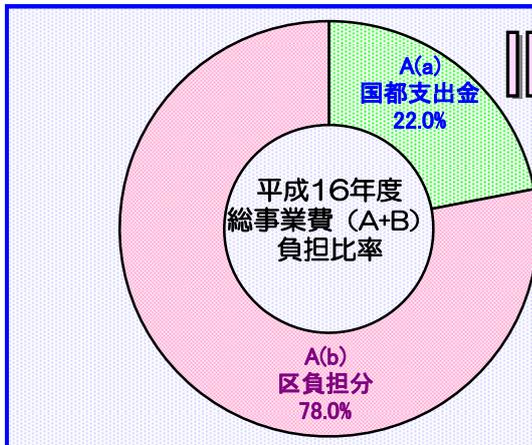
## 対象事業に関連する他の事業

	事業名	事業概要
①	大規模区施設の省エネ診断	エネルギー消費量の大きい施設について専門家の診断を受け、投資効果を考慮しながら省エネ改修計画を作成します。
②	省エネ機器等の導入	インバータ式照明器具やエアコンの導入、人感センサーによるスイッチのON/OFF等通常の改修工事でも省エネ設計に取り組んでいます。

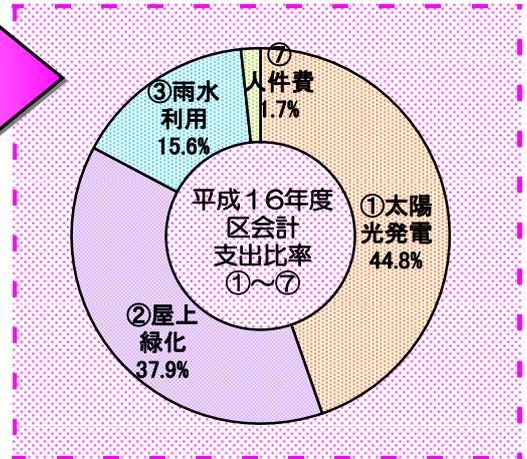
## その他背景・他の自治体の状況等

「京都議定書」がH17.2.16発効し、日本は温室効果ガスの排出量を1990年を基準にして、2012年までに6%削減しなくてはなりません。2003年では逆に8%増加しており、今後14%の削減を求められる厳しい状況です。

16年度総事業費 (A+B) 33,985千円



A(a~c)  
区会計内訳



## A 区の会計内訳 (a~c)

33,985千円

A(a) 国都支出金 (歳入)	7,470千円	太陽光発電はNEDOとの共同研究事業でNEDO半額負担
A(b) 区負担分	26,515千円	※ NEDO 新エネルギー・産業技術 総合開発機構
A(c) 受益者負担 (歳入)	0千円	

## 支出内訳 (①~⑦)

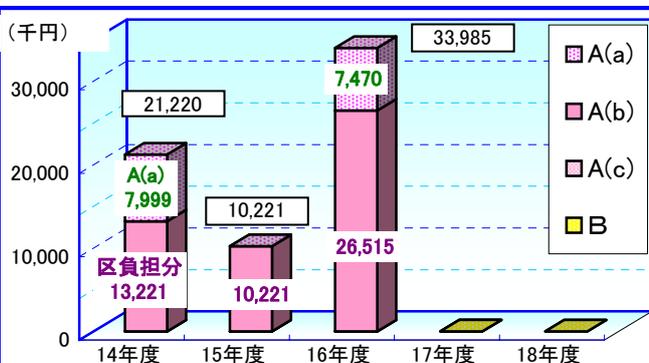
① 太陽光発電	15,238千円	東葛西コミ館・図書館
② 屋上緑化	12,884千円	東葛西コミ館・図書館 東葛西中
③ 雨水利用	5,297千円	東葛西コミ館・図書館
④		
⑤		
⑥		
⑦ 区職員人件費	566千円	設計、工事監理業務(新築施設の設計業務は委託、①~③に含む)

ア 常勤職員	0.07人
イ 非常勤職員	
ウ 臨時職員	

## B 利用者が事業者等へ直接支払う額

0千円

## 総事業費の経年変化 (14年度~)



事業費はすべて **公費(補助金を含む)**

で賄っています。

一つの設備の耐用年数を25年として、総事業費を各年に分割して計算すると、

CO<sub>2</sub>を1kg削減する経費は **264円**

## 経費の説明

太陽光発電(2施設)、屋上緑化(10施設)、雨水利用(1施設)について実際の利用量等を集計してCO<sub>2</sub>削減単位経費を計算しています。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」内部評価シート

<b>整理番号</b>	11	<b>事業名</b>	区施設における環境負荷の低減
-------------	----	------------	----------------

<b>所属名</b>	都市開発部 施設課 事業調整係・施設第一係・施設第二係・設備第一係・設備第二係
------------	---

## 所 管 課 長 評 価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備 考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。		○				区も民間も取り組む必要があります。
2	目的を達成するために他の手段がある。		○				目的達成は容易ではなく様々な手段を考える必要があります。
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。		○				
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○			
6	受益者負担を検討する必要がある。					○	
<b>【協働の可能性】</b> ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。		○				
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。	○					
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

## 所 管 部 長 の 意 見

経済性から評価しにくい取組みであるが、地球的環境確保の観点から、生活スタイル全体を考えていくべき課題である。公共施設管理者として一定の目標達成をしながら個人・事業者などの環境負荷低減の取組みを啓発、誘導したい。

# 平成17年度 江戸川区「行政評価」外部評価シート

<b>整理番号</b>	11	<b>事業名</b>	区施設における環境負荷の低減
-------------	----	------------	----------------

<b>所属名</b>	都市開発部 施設課 事業調整係・施設第一係・第二係・設備第一係・第二係
------------	-------------------------------------

## 外部評価委員会評価

そう思う ←→ そう思わない

評価項目	評点	5	4	3	2	1	備考
<b>【必要性・代替性】</b>							
1	区が実施すべき事業である。	○					
2	目的を達成するために他の手段がある。			○			
<b>【実績】</b>							
3	目的を果たすために有効な事業である。		○				
4	事業の成果を上げている。			○			
<b>【公平性】</b>							
5	対象者や実施回数、助成額等は適切である。			○			
6	受益者負担を検討する必要がある。						評価項目として該当しない
<b>【協働の可能性】 ※既に実施している場合は、拡大・維持・縮小の可能性として評価</b>							
7	ボランティアやNPOの活用が可能である。		○				
8	民間委託の可能性はある。		○				
<b>【効率性】</b>							
9	工夫や改善が必要である。		○				
10	経費を削減できる可能性がある。		○				

### 外部評価委員会の意見

- ・太陽光発電等の導入については、CO2削減のため、区施設のほか、民間施設への導入についても協力を求めていく必要があるのではないか。
- ・環境問題は区民への意識啓発が必要であり、活動指標に示している以外に区が実施している様々な取り組みについても、区民に示していくべきである。
- ・成果指標は、電気量で示すこともできるのではないか。